

現職教員 CST 養成プログラム 授業日程表 (平成24年度)

午前9:00~12:30 午後13:30~17:00

開講日時	科目	授業細目	授業概要	担当者(教室)
6月	30日(土)午前	<b>開講式(10:00~)・オリエンテーション</b>		(7号館101)
7月	21日(土)午前	B 地学(地球)実験 雨天 7/29(日)	大気上層風の気象観測	筆保 (2研213)
	午後	B 地学(地球)実験 雨天 7/29(日)	大気上層風の気象観測	筆保 (2研213)
	26日(木)午後	F 天体観測 (17:30~)	野外での天体観測、プラネタリウムの操作等	科学館講師、河潟、筆保 (かわさき宙と緑の科学館)
	27日(金)午前	A 化学実験中の事故と対策	火気・薬品・気体に関する事故と対策	鈴木、津野 (7号館102)
	午後	C 現象の変化	身近な素材を利用した化学実験教材の作成	鈴木 (7号館102)
	28日(土)午前	B 地学(地球)実験	化石・火成岩の観察と記録	河潟 (7号館102)
	午後	A 地学実験中の事故と対策	室内地学実験中、野外観察での事故とその対策	河潟、筆保 (2研213)
	30日(月)午前	E 人間社会と科学Ⅰ	人間社会と科学の在り方について	津野 (7号館211)
	午後	E 人間社会と科学Ⅱ	社会や文化を背景として創られる子どもの自然認識の特徴	加藤 (7号館211)
31日(火)午後	C 地球・環境関係	横浜地方気象台見学(現地集合)	筆保 (横浜地方気象台)	
8月	2日(木)午後	B 化学(粒子)実験	ガラス器具の正しい扱い方	鈴木、津野 (7号館102)
	3日(金)午前	B 化学(粒子)実験	薬品の正しい扱い方	鈴木、津野 (7号館102)
	午後	B 化学(粒子)実験	気体の扱い方	鈴木、津野 (7号館102)
	4日(土)午後	F 沿岸域のプランクトンの観察	海岸動物とプランクトンの観察	種田、西、倉田 (環境情報研究院附属臨海環境センター 真鶴)
	5日(日)午前	F 海岸の植物	常緑広葉樹林および海浜植物の観察	種田、西、倉田 (環境情報研究院附属臨海環境センター 真鶴)
	7日(火)午前	C 身近な自然観察	自然観察の方法・収集・分析	西 (7号館102)
	午後	A 生物実験中の事故と対策	事故と対策、動植物による被害と対策	種田 (7号館102)
	8日(水)午前	B 物理(エネルギー)実験	力・運動・電流・磁界・分子運動・エネルギー	山本、平島 (2研316)
	午後	B 物理(エネルギー)実験	力・運動・電流・磁界・分子運動・エネルギー	山本、平島 (2研316)
	9日(木)午前	B 物理(エネルギー)実験	力・運動・電流・磁界・分子運動・エネルギー	山本、平島 (2研316)
	午後	B 生物(生命)実験	身近な動植物材料を用いた実験	種田、西、倉田(7号館102)
	10日(金)午前	B 生物(生命)実験	身近な動植物材料を用いた実験	種田、西、倉田(7号館102)
	午後	B 生物(生命)実験	身近な動植物材料を用いた実験	種田、西、倉田(7号館102)
	19日(日)午前	D 理科授業研究	授業参観(ビデオ)と情報分析	森本、和田 (7号館102)
午後	D 理科授業研究	指導計画プレゼンと討議	森本、和田 (7号館102)	
20日(月)午前	A 物理実験中の事故と対策	高温、低温、圧力等が関係した事故	山本、平島 (2研316)	
午後	C ものづくり	教材作りと単元学習での位置づけ	山本、平島 (2研316)	
10月	14日(日)午前	F 神奈川の地形と地質	城ヶ島演習	河潟 (城ヶ島現地)
	午後	F 神奈川の地形と地質	城ヶ島演習	河潟 (城ヶ島現地)
	27日(土)午前	E 人間社会と科学Ⅲ	人間社会と科学のあり方についての議論	津野
	午後	F 土壌動物の採集と分類	採集方法と分類の演習	橋本 (7号館102)
	未定	E 人間社会と科学Ⅳ	人間社会と科学の在り方についての議論	津野

各科目(A~F)

A) 危機管理実験・演習 B) 理科実験演習 C) 理科教材開発実験演習

D) 理科授業研究 E) 人間社会と科学 F) 地域フィールド研究